

倉吉市の水道事業ガイドライン(業務指標)

水道事業ガイドラインは、水道事業を多方面から、業務指標によって数値化しようとするものです。平成 16 年6月に厚生労働省から出された水道事業ビジョンの目標にあわせて、日本水道協会が平成 17 年1月に制定された国内規格です。さらに、平成 28 年3月にガイドラインが「水道事業ガイドライン(JWWAQ100):2016」に改定されたことを受けて、平成 28 年度から新たな業務指標で作成しました。

倉吉市の水道事業について、この業務指標より現状を把握します。

《安全で良質な水》

水道水の安全性をより一層高め、良質な水道水を供給する業務指標として、全 17 項目あります。水源から給水栓までの水質監視・管理及び給水栓における水質向上に向けて、適切な上水処理、管路の維持管理などに努めます。

原水水質監視項目数は 43 項目としており、水道水質としては良好となっています。

NO	業務指標	算式	単位	H28	H29	H30	望ましい方向
A201	原水水質監視度	原水水質監視項目数	項目	40	43	43	↑

《安定した水の供給》

いつでもどこでも安定的に水道水を供給する業務指標として、全 57 項目あります。

一日平均給水量の給水能力に対する割合を示す指標である「施設利用率」は、51.9%と低い水準にあります。給水能力のダウンサイジングを検討する必要があります。

「漏水率」は、16.4%と昨年度に比べて増加しています。これは鳥取県中部地震の影響が継続していると思われませんが、「有収率」は、83.3%と昨年度に比べて若干増加しています。

「配水池貯留能力」は、給水に対する安全性、災害・事故等に対する危機対応性を示す指標であり、需要と供給の調整および突発事故に対応するため 0.5 日以上必要とされていますが、0.82 日分確保できています。

「給水制限日数」は、渇水時や水道施設の事故等のために1年間で何日給水制限したかを示す指標ですが、過去3年間で給水制限をした日はなく、安定して給水しています。

ただし、平成 28 年度は、鳥取県中部地震のため「給水人口一人当たり平均断水・濁水時間」で 32 時間断水・濁水がありました。

「災害対策訓練実施回数」は、倉吉市総合防災訓練に参加しました。

「法定耐用年数超過設備率」は 64.8%と昨年度と比較して増加しており、「法定耐用年数超過管路率」は 39.8%と経年化が進んでいるため、将来を見越した施設の更新計画を基に財政計画を策定する必要があります。

NO	業務指標	算式	単位	H28	H29	H30	望ましい方向
B104	施設利用率	$(\text{一日平均配水量}/\text{施設能力}) \times 100$	%	53.2	53.3	51.9	↗
B110	漏水率	$(\text{年間漏水量}/\text{年間配水量}) \times 100$	%	14.7	16.6	16.4	↘
B112	有収率	$(\text{年間有収水量}/\text{年間配水量}) \times 100$	%	83.0	83.1	83.3	↗
B113	配水池貯留能力	配水池有効容量/一日平均配水量	日	0.80	0.80	0.82	↗
B115	給水制限日数	年間給水制限日数	日	0	0	0	↘
B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	$\Sigma(\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) / \text{現在給水人口}$	時間	32.00	0.02	0.04	↘
B210	災害対策訓練実施回数	年間の災害対策訓練実施回数	回/年	0	0	1	—
B502	法定耐用年数超過設備率	$(\text{法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数} / \text{機械・電気・計装設備などの合計数}) \times 100$	%	65.7	62.0	64.8	↘
B503	法定耐用年数超過管路率	$(\text{法定耐用年数を超えている管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	%	35.7	37.8	39.8	↘

《健全な事業経営》

健全かつ安定的な事業経営を継続する業務指標として、全 45 項目あります。

経営に関する指標である「営業収支比率」および事業の収益性を示す指標である「経常収支比率」は、106.8%、107.1%でいずれも利益が生じる 100%を超えているため経営成績は概ね良好といえます。

職員一人当たりの生産性や事業効率を示す指標である「職員一人当たり給水収益」、「職員一人当たり有収水量」は、23,372 千円/人、175,000 m³/人と低い水準にあります。各種業務についてアウトソーシングを検討する必要があります。

NO	業務指標	算式	単位	H28	H29	H30	望ましい方向
C101	営業収支比率	$\{(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費)\} \times 100$	%	114.7	109.9	106.8	㊦
C102	経常収支比率	$\{(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)\} \times 100$	%	115.3	111.9	107.1	㊦
C107	職員一人当たり 給水収益	$(給水収益/損益勘定所属職員数) / 1000$	千円/人	22,319	22,370	23,372	㊦
C124	職員一人当たり 有収水量	年間総有収水量/損益勘定所属 職員数	m ³ /人	167,000	168,000	175,000	㊦

【表の見方】

◆ 望ましい方向

前年度より望ましい方向へ 青;向かっている。

赤;悪くなった。

白;前年と同値または値なし